

## 平成 19 年度山下記念研究賞表彰（概要）

詳細は学会 Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp/>) をご覧ください。

山下記念研究賞は、これまでは研究賞として本学会の研究会および研究会主催シンポジウムにおける研究発表のうちから特に優秀な論文を選び、その発表者に贈られていたものですが、故山下英男先生のご遺族から学会にご寄贈いただいた資金を活用するため、平成 6 年度から研究賞を充実させ、山下記念研究賞としたものです。受賞者は該当論文の登壇発表者である本学会の会員で、年齢制限はありません。本賞の選考は、表彰規程、山下記念研究賞受賞候補者選定手続および山下記念研究賞推薦内規に基づき、各領域委員会が選定委員会となって行います。本年度は 33 研究会の主査から推薦された計 46 編の優れた論文に対し、慎重な審議を行い、決定されたうえで、第 528 回理事会（平成 19 年 7 月）および調査研究運営委員会に報告されたものです。本年度の受賞者は下記 46 君で、3 月 13 日に筑波大学で開催される第 70 回全国大会の席上で表彰状、賞牌、賞金が授与されます。

### [コンピュータサイエンス領域]

● **N.M-gram**：ハッシュ値付き **N-gram** 法による転置インデックスの実現  
[2006-DBS-140 (H18.7.13)] (データベースシステム研究会)  
平林幹雄君 (正会員)

● プログラムソースコードのための品質測定と評価の枠組み  
[ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム 2006 (H18.10.20)]  
(ソフトウェア工学研究会)  
鷲崎弘宜君 (正会員)

● 依存情報を用いた命令グループ化による動的命令スケジューリング機構の電力削減手法  
[2006-ARC-168 (H18.6.8)] (計算機アーキテクチャ研究会)  
佐々木広君 (学生会員)

● 3 次元 IC 向け **Fat Tree** ベース **Network-on-Chips**  
[2007-ARC-171 (H19.1.23)] (計算機アーキテクチャ研究会)  
松谷宏紀君 (学生会員)

● オーバレイ構築ツールキット **Overlay Weaver**  
[先進的計算基盤システムシンポジウム 2006 (H18.5.23)] (システムソフトウェアとオペレーティング・システム研究会)  
首藤一幸君 (正会員)

● メモリアクセスおよびリソース共有を行うカスタム命令自動生成手法  
[2006-SLDM-125 (H18.5.11)] (システム LSI 設計技術研究会)  
瀬戸謙修君 (正会員)

● 高速モードと低消費電力モードを有する 2 線式論理回路の設計手法  
[2006-SLDM-127 (H18.11.28)] (システム LSI 設計技術研究会)  
森本薫夫君 (正会員)

● 新しいマルチレベル型反復解法：陰的マルチグリッド法の概念  
[2006-HPC-107 (H18.8.1)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)  
岩下武史君 (正会員)

● ヘテロな OS の計算資源を活用するグリッド RPC の設計  
[2006-HPC-107 (H18.8.2)] (ハイパフォーマンスコンピューティング研究会)  
上村佳史君 (学生会員)

● 並行プログラミング言語へのチャネル使用法宣言の導入  
[(H19.1.19)] (プログラミング研究会)  
須藤 崇君 (学生会員)

● 最小コスト木状被覆問題の 2 倍近似アルゴリズム  
[2006-AL-107 (H18.7.3)] (アルゴリズム研究会)  
藤戸敏弘君 (正会員)

● 特徴ベクトルに基づく木状の化学分子の列挙アルゴリズム  
[2006-MPS-62 (H18.12.22)] (数理モデル化と問題解決研究会)  
藤原大樹君 (正会員)

● 携帯電話組み込み用“モバイル **FeliCa IC** チップ”開発におけるモデル検証手法の導入と課題  
[組み込みシステムシンポジウム 2006 (H18.10.20)] (組み込みシステム研究会)  
中津川泰正君 (正会員)

### [情報環境領域]

● 教育環境における仮想大規模ストレージのためのツールキット  
[マルチメディア通信と分散処理ワークショップ (H18.12.1)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)  
上原 稔君 (正会員)

● **A Distributed Worm Detection Method based on ACTM**  
[2007-DPS-130 (H19.3.1)] (マルチメディア通信と分散処理研究会)  
重野 寛君 (正会員)

● 没入型三次元風覚ディスプレイの開発と評価  
[インタラクション 2007 (H19.3.15)] (ヒューマンコンピュータインタラクション研究会)  
小坂崇之君 (正会員)

● インタラクティブだまし絵表現の提案と実装  
[2006-CG-125 (H18.11.16)] (グラフィクスと CAD 研究会)  
藤木 淳君 (正会員)

● GPU を用いたリアルタイム剛体シミュレーション  
[2007-CG-126 (H19.2.20)] (グラフィクスと CAD 研究会)  
原田隆宏君 (正会員)

● 類語関係抽出タスクにおけるコーパス規模拡大の影響  
[2006-FI-84 (H 18.9.13)] (情報学基礎研究会)  
相澤彰子君 (正会員)

● ガウス性信号の高効率 **Golomb** 符号化方式  
[2006-AVM-55 (H18.12.15)] (オーディオビジュアル複合情報処理研究会)  
高村誠之君 (正会員)

● Web サイトからの企業名抽出によるフィッシング対策手法の提案  
[2006-GN-61 (H18.9.14)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)  
柴田賢介君 (正会員)

- 反響特性分析に基づいた **Blog** 記事マイニング  
[GN ワークショップ (H18.11.16)] (グループウェアとネットワークサービス研究会)  
宮田章裕君 (正会員)
  - ネットワークエミュレータによる大規模 **DHT** 性能評価手法の提案  
[分散システム/インターネット運用技術シンポジウム 2006 (H18.11.24)] (分散システム/インターネット運用技術研究会)  
加藤大志君 (正会員)
  - **Wikipedia** マイニングによる信頼性情報を考慮した記事関係の抽出  
[2006-DD-58 (H18.12.1)] (デジタルドキュメント研究会)  
中山浩太郎君 (正会員)
  - **Particle Filter** を用いた複数無線 LAN 基地局の位置推定手法  
[2006-MBL-39 (H18.11.16)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)  
鈴木啓之君 (学生会員)
  - 片方向リンクを考慮したアドホックネットワークルーティングプロトコルの提案と検討  
[2007-MBL-40 (H19.2.23)] (モバイルコンピューティングとユビキタス通信研究会)  
福井裕介君 (学生会員)
  - ゼロ知識証明を用いた非対称指紋認証  
[マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2006) シンポジウム (H18.7.6)] (コンピュータセキュリティ研究会)  
永井 慧君 (学生会員)
  - **Java** を利用した携帯電話上での **Tate** ペアリングの高速実装  
[コンピュータセキュリティシンポジウム 2006 (H18.10.27)] (コンピュータセキュリティ研究会)  
川原祐人君 (学生会員)
  - 道路交通流の円滑化に向けた情報共有に基づく協調カーナビの提案  
[2006-ITS-25 (H18.6.23)] (高度交通システム研究会)  
山下倫央君 (正会員)
  - **Java** プログラムへの動的な測定点設置方式の評価  
[2006-EVA-19 (H18.11.13)] (システム評価研究会)  
堀川 隆君 (正会員)
  - **Consensual Disclosure** を実現する実用的な追跡不能アクセス制御方式  
[2006-UBI-12 (H18.11.10)] (ユビキタスコンピューティングシステム研究会)  
申 吉浩君 (正会員)
- [フロンティア領域]
- 符号化問題として解く日本語係り受け解析  
[2006-NL-176 (H18.11.22)] (自然言語処理研究会)  
田村晃裕君 (正会員)
  - **NAIST** テキストコーパス: 述語項構造と共参照関係のアノテーション  
[2007-NL-177 (H19.1.26)] (自然言語処理研究会)  
飯田 龍君 (正会員)
  - 「ロボット・ミーム」の構想 一人一ロボット間の相互適応による文化の学習・伝達・創出の実現—  
[2006-ICS-146 (H18.12.13)] (知能と複雑系研究会)  
駒込大輔君 (学生会員)
  - 特徴点の局所的配置に基づくリアルタイム文書画像検索とその拡張現実への応用  
[2006-CVIM-155 (H18.9.8)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)  
中居友弘君 (学生会員)
  - 近接点光源は未校正照度差ステレオにおける形状復元の不定性を解決するか?  
[2007-CVIM-157 (H19.1.12)] (コンピュータビジョンとイメージメディア研究会)  
岡部孝弘君 (正会員)
  - デジタル教科書作成ツールの開発と市販教科書への応用  
[情報教育シンポジウム 2006 (H18.8.27)] (コンピュータと教育研究会)  
原久太郎君 (正会員)
  - **3 軸** 自律制御ロボットを用いた制御の学習  
[情報教育シンポジウム 2006 (H18.8.28)] (コンピュータと教育研究会)  
西ヶ谷浩史君 (準会員)
  - 文字オントロジーに基づく文字処理について  
[2006-CH-72 (H18.10.27)] (人文科学とコンピュータ研究会)  
守岡知彦君 (正会員)
  - オブジェクト指向設計によるチベット文字認識研究の発展  
[2007-CH-73 (H19.1.27)] (人文科学とコンピュータ研究会)  
小島正美君 (正会員)
  - 音楽音響信号と歌詞の時間的対応付け手法: 歌声の分離と母音の **Viterbi** アラインメント  
[2006-MUS-66 (H18.8.7)] (音楽情報科学研究会)  
藤原弘将君 (正会員)
  - 限定されたドメインにおける質問応答機能を備えた文書検索・提示型対話システム  
[2006-SLP-62 (H18.7.8)] (音声言語情報処理研究会)  
翠 輝久君 (学生会員)
  - **AdaBoost** を用いたシステムへの問い合わせと雑談の判別  
[2006-SLP-64 (H18.12.21)] (音声言語情報処理研究会)  
佐古 淳君 (学生会員)
  - 自動実行型 **ADR** サービスにおける参加者の費用負担方法のあり方に関する一考察— 電子的自力救済型個人データ保護制度を中心に—  
[2006-EIP-34 (H18.12.1)] (電子化知的財産・社会基盤研究会)  
橋本誠志君 (正会員)
  - 大貧民における手の構造  
[2007-GI-17 (H19.3.5)] (ゲーム情報学研究会)  
西野順二君 (正会員)
  - 生化学反応系のためのベイズ的システム同定法  
[2006-BIO-5 (H18.6.15)] (バイオ情報学研究会)  
吉本潤一郎君 (正会員)

10月に、IT分野の国際規約開発の運営を担うISO/IEC JTC 1総会がオーストラリアで開催され、参加いたしました。この海外出張での出来事を紹介します。

ISO/IEC JTC 1総会は毎年開催され、来年は約10年振りに日本で開催されます。この準備の参考とするために、日本の事務局として、オーストラリア標準局（事務局）のスタッフの方々に総会準備のことをいろいろとヒアリングしました。最後に「Murphy's Law」だよと言われたことが印象に残っています。「Murphy's Law」とは、「いかに準備万端でも想定外のこととは起こる」、ということです。実際、会議の初日に電源が落ちましたが、誰かが「想定外」に大本のケーブルを勝手に自分のPCに差し換えたのが原因でした…。「Murphy's Law」: If anything can go wrong, it will. (失敗する可能性のあるものは

失敗する)

成田への飛行機が朝早いために、前日に空港のある街に移動しました。電車で駅に着き、ホテルに行くためにタクシー会社に連絡する機械に2ドルを入れようとしたのですが小銭がありません。財布をゴソゴソしていたら、近くのレストランの外のテーブルに立って友人と軽く一杯やっていた男の人が2ドルコインを僕にくれました！

ありがたいです。日本に帰ったら、3倍の親切をしよう！と思いました。

“Pay it forward”（他の誰かに違う形で「先贈り」して善意を広げていく。世界が温かく、平和になる可能性を信じて）

(林 乙平/規格部門)



■ 各種問合せ先 ■

(社) 情報処理学会 (本部) ※支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigyo@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	somu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 <a href="http://www.itscj.ipsj.or.jp/">http://www.itscj.ipsj.or.jp/</a>

# 会員の広場

## Member's Voice

今月の会員の広場では、8月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「情報の価値化・知識化技術の実現へ向けて」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■テキストマイニングについて、興味深く読みました。文章から統計情報が得られ便利ですが、「ニュアンスの違い」を汲み取ることが難しく、鵜呑みにできない（＝自由記述分析の省力化ができない）悩みがあります。テキストマイニングのさらなる発展を期待します。（匿名希望）

■オントロジーを用いた研究／技術が増えてきたように思う。セマンティックオーサリングをサポートするツールであるセマンティックエディタは、非常に興味深く、セマンティックコンピューティングの実現可能性を感じた。（匿名希望）

■さまざまなデータや情報から知識を見出す試みは、情報技術の本流といえる。特集記事は全般に興味深く読めた。しかし、具体的な成果への言及がほとんどなかったことが気になる。実務に直結する理論や研究は、まだこれからののだろうか。（匿名希望）

■期待したものとはギャップを感じました。高性能な計算機を援用すれば大規模な「関係」を扱うことができ、実際、Googleなど検索分野でたいへん有効に使われています。しかし、知識を2次元の構造である一対関係で表すだけでは、文字通り平べったくなります。実際はもっと高次の構造を持っているように思えます。ネットワークで可視化されたキーワードの連携は理解が容易ではなく、原文やデータを見た方がよく分かる、もしくは見ないと分からないことが多々あります。どちらがどちらを説明しているかの逆転をしばしば感じます。これらの疑問に答えてもらえる記事を読みたいと思いました。（西野順二）

■可視化の手法や見せ方は発展してきていますが、関係を読み取ったり意思決定につなげるには、ユーザがそれを解釈するための技術がいると思います。（匿名希望）

解説「電子ペーパーが創るユビキタス社会—電子ペーパークライアントを目指して—」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■少し先の技術が分かりやすく解説されており、技術者としての興味をそそられました。（阿南佳之）

■電子ペーパーを究極のシンクライアントと捉える視点は、なかなか斬新ですね。もしかしたら研究ネタをたくさん内包しているのでは？とひそかに感じました。（桶屋勝幸）

■今号で最も面白く参考になったのは、電子ペーパーの記事だった。新聞報道などで断片的な情報はあがるが、これだけまとまった解説記事はあまりない。文章もこねられていて、読み応えがあった。（匿名希望）

■電子ペーパーには、大変興味があります。今すぐ読みたい新刊本はハードカバーが多く、大変重いのです。おしゃれで小ぶりのバッグには到底入りません。通勤時に読むために、毎日2～3冊持ち歩きますが、荷物の重さにとても苦労しています。電子ペーパーが実用化されて、バックが軽くなることを切に希望しています。（伊藤かほる）

解説「デジタルフォレンジック～電磁的証拠の収集と分析の技術～」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■デジタルフォレンジックの“携帯電話からの電磁的証拠の収集”が面白かったです。携帯電話が進化すると、状況もずいぶん変わりそう。（匿名希望）

■デジタルフォレンジックの解説は、とても分かりやすく、この分野を知らない一人としてとても興味を持って読みました。米国では法医学のテレビ番組が人気だと聞きますが、ますます重要になってきますね。（匿名希望）

報告「第1回 UEC コンピュータ大貧民大会（UECda-2006）の実施報告」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■前号でコンピュータ将棋選手権を取り上げていたこともあり、タイトルのイメージも気になって、読む気が出ませんでした。（阿南佳之）

■「大貧民」についての知見を持ち合わせていないため、内容が理解できなかった。（水野光朗）

連載「仮想マシン道しるべ『仮想マシン草創期』」につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■今後の展開に、大いに期待している。（匿名希望）

■初回は読みやすい導入で興味を持ってました。次回以降、分かりやすい解説が展開されそうで楽しみです。（山崎浩之）

■「集約化+オープン化がトレンド」と最近耳にしましたが、「集約化～分散化～再集約化」という、コンピュータがたどってきた経緯や理由について、あまり理解していないことに気づきました。この連載で勉強したいと思います。（金淵 満）

■最近、パソコンの世界でもVMが話題になっていますが、VMがどのように世の中に出てきたか、どのような方向に進むのかを知る上で、期待しています。（匿名希望）

■仮想化技術の歴史は古いが、VMware, Xenといったテク

ノロジーが注目されてきており、タイムリーだと思います。  
(匿名希望)

■久々にメインフレームの話題に触れる機会を得て懐かしい  
気がします。次回の解説記事を楽しみにしています。  
(匿名希望)

連載「これからの情報処理学会『実務家から見た情報処理学会』」に  
つきましては、以下のようなご感想・ご意見をいただきました。

■今後、日本の情報科学が国際的に発展していくためには、  
産学連携が欠かせないと思います。関係者が互いに本音で意  
見を言い合って、高め合っていく意識を持つことが大切では  
ないでしょうか。  
(内山 彰)

■「学会に期待すること」に「情報処理技術者の地位確立」  
があった。実務サイドの視点であり「学会の使命から外れる」  
との考えもあろうが、学会発展のためには、大いに検討した  
い。  
(飯倉道雄)

その他の記事につきましては、以下のようなご感想・ご意見をいた  
だきました。

■コラム「研究会千夜一夜『情報学基礎研究会』」は、記事  
の半分以上が NTCIR の紹介となっており、コラムの主旨か  
ら外れるのではと思った。  
(匿名希望)

■トピックス「情報技術の国際標準化と日本の対応 — 2006  
年度の ISO/IEC JTC 1 および情報規格調査会の活動 —」では、  
世界における日本の対応がまとめられており、日本の貢献具  
合が分かりました。  
(匿名希望)

■連載「『情報学を創る』『特定領域研究「情報爆発 (Info-

plosion)』への新展開』で科研費の話題が出ていたが、大学  
と一部の研究機関に所属する研究者・技術者にしか、理解で  
きないのではないか？ 普通の民間企業の研究部門の研究  
者・技術者には科研費の申請資格が付与されていないからで  
ある。  
(水野光朗)

■報告「ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト世  
界大会報告」と報告「第 1 回 UEC コンピュータ大貧民大会  
(UECda-2006) の実施報告」の記事を、興味深く読みました。  
(匿名希望)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のような  
ご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいたします。

■大学などでの情報科学研究の成果をどのように実社会に役  
立てるかを、展望・解説する記事を読んでみたい。具体的  
には、実用化の際の「死の谷」の問題など。また、産学連携に  
よるベンチャー企業で活躍している方の記事を読んでみたい。  
(匿名希望)

■知能システム技術についての記事を希望します。  
(匿名希望)

■量子暗号の攻撃法に関する記事をお願いしたい。  
(匿名希望)

■企画は良かったものの、読みづらく、執筆者の意図したと  
ころまで理解できない記事が多かった。  
(匿名希望)

■高等教育における情報処理教育の現状について、特集をお  
願いします。  
(匿名希望)

【本欄担当 河辺義信, 屋代 聡/書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載してい  
ますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい  
会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに  
準じて取り扱いたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
情報処理学会 会誌編集部門  
E-mail: [editj@ipsj.or.jp](mailto:editj@ipsj.or.jp) Fax: (03)3518-8375  
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4811.html>

ご意見をお寄せ  
ください!!



IPSJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2007年				
	論文誌「安心・安全な社会基盤を実現するコンピュータセキュリティ技術」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-M.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-M.html</a>	11月30日(金)		
	論文誌「情報教育～理論・実践・効果～」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-Q.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-Q.html</a>	11月30日(金)		
	平成19年度情報処理学会業績賞候補者推薦募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/H19/h19boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/gyoseki/H19/h19boshu.html</a>	12月7日(金)		
	論文誌「組込みシステム工学」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-R.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-R.html</a>	12月28日(金)		
11月15日(木)	東海支部主催講演会「画像処理による物体追跡」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>		参加無料	愛知県立大学学術文化交流センタ小ホール
11月19日(月)	第23回システム評価研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EVA23.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EVA23.html</a>	10月12日(金)	当日のみ	北陸先端科学技術大学院大学
11月19日(月)～	第182回自然言語処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL182.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/NL182.html</a>	9月7日(金)	当日のみ	静岡大学
11月20日(火)	平成19年度日本学術会議情報学委員会および情報処理学会 共催講演会「情報処理で社会を守る」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/event/scj2007.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/event/scj2007.html</a>		定員になり次第	日本学術会議講堂
11月20日(火)～	第132回システムLSI設計技術研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLDM132.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLDM132.html</a>	9月14日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
11月22日(木)	第167回計算機アーキテクチャ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC167.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC167.html</a>	9月20日(木)	当日のみ	北九州国際会議場
11月22日(木)	第43回モバイルコンピューティングとユビキタス通信・第31回 高度交通システム・第18回放送コンピューティング研究グループ 合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL43ITS31.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MBL43ITS31.html</a>	9月21日(金)	当日のみ	京都大学学術情報メディアセンター
11月22日(木)	デジタルドキュメント・シンポジウム2007 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sig/dd/">http://www.ipsj.or.jp/sig/dd/</a>		11月14日(水)	日立製作所 大森第二別館 学習院大学 学習院創立 百周年記念会館
11月26日(月)～	分散システム/インターネット運用技術シンポジウム2007 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-DSM2007.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-DSM2007.html</a>	8月31日(金)		東洋大学川越 キャンパス
11月27日(火)	第133回マルチメディア通信と分散処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DPS133.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DPS133.html</a>	9月26日(水)	当日のみ	東京(秋葉原)
11月26日(月)～	2007 International Symposium on Ubiquitous Computing Systems (UCS2007) <a href="http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/ucs2007/">http://www.ht.sfc.keio.ac.jp/ucs2007/</a>			
11月27日(火)～	コンピュータシステム・シンポジウム (ComSys2007) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ComSys2007.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ComSys2007.html</a>	7月17日(火)	当日可 事前割引は11/20	東京ファッション タウン
11月28日(水)	データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム (DBWeb2007) <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBWeb2007.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBWeb2007.html</a>	9月18日(火)		東京大学 生産技術研究所
11月29日(木)	第16回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/UBI16.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/UBI16.html</a>		当日のみ	秋葉原ダイビル
11月30日(金)	第115回アルゴリズム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL115.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/AL115.html</a>	9月30日(日)	当日のみ	新潟大学
12月1日(土)	第38回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP38.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP38.html</a>	10月12日(金)	当日のみ	同志社大学 今出川キャンパス
12月3日(月)	東海支部主催講演会「アフリカゾウの会話を覗く ～音の可視化技術の可能性～」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/">http://www.ipsj.or.jp/sibu/tokai/</a>		参加無料 (参加資格は問いません)	東桜会館(名古屋市)
12月4日(火)	第6回組込みシステム研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EMB6.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EMB6.html</a>	10月15日(月)	当日のみ	名古屋大学 東山キャンパス
12月5日(水)～	APSEC2007 14th Asia-Pacific Software Engineering Conference <a href="http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/">http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/</a>			名古屋
12月7日(金)	第113回ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HPC113.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/HPC113.html</a>	10月12日(金)	当日のみ	筑波大学 計算科学研究 センター
12月7日(金)～	第92回コンピュータと教育研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE92.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CE92.html</a>	10月12日(金)	当日のみ	那覇市IT創造館
12月8日(土)	人文科学とコンピュータシンポジウム「じんもんこん2007」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-CH2007.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/S-CH2007.html</a>	9月14日(金)	定員になり次第 ※当日参加も可能	京都大学 京大会館
12月14日(金)	北陸支部主催研究講演会「ブロードバンドネットワークを 支える光通信技術」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html</a>		参加無料・会員 以外の方も参加可	富山県立大学
12月14日(金)	連続セミナー 2007「情報セキュリティ 2.0」 第6回 次世代暗号技術への移行に向けた課題と対応 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/seminar/2007/index.html</a>		定員になり次第	東京電機大学 丹羽ホール
12月14日(金)	第39回コンピュータセキュリティ研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC39.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CSEC39.html</a>	10月12日(金)	当日のみ	東京理科大学森戸 記念会館
12月14日(金)～	第73回音楽情報科学研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS73.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MUS73.html</a>	10月10日(水)	当日のみ	多摩美術大学 八王子 キャンパス
12月15日(土)	第69回音声言語情報処理研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLP69.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/SLP69.html</a>	10月19日(金)	当日のみ	NTT 京阪奈ビル
12月20日(木)～	第67回数値モデル化と問題解決・第11回バイオ情報学 合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MPS67BIO11.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/MPS67BIO11.html</a>	10月25日(木)	当日のみ	産業技術総合研究所

開催日	名称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
2008年				
	平成19年度情報処理学会長尾真記念特別賞候補者推薦募集 <a href="http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/H19/h19boshu.html">http://www.ipsj.or.jp/03somu/nagao/H19/h19boshu.html</a>	1月18日(金)		
	論文誌「メディアインタラクシオン研究の発展」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-T.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-T.html</a>	3月20日(木)		
	論文誌「メディアインタラクシオン研究の発展(テクニカルノート)」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-U.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/08-U.html</a>	3月20日(木)		
	論文誌「日常生活におけるコラボレーション支援技術」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-Z.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-Z.html</a>	4月11日(金)		
	論文誌「音声ドキュメント処理」特集への論文投稿 <a href="http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-Y.html">http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/09-Y.html</a>	5月30日(金)		
1月8日(火)～	第49回プログラミング・シンポジウム <a href="http://www.ipsj.or.jp/prosym/">http://www.ipsj.or.jp/prosym/</a>			箱根ホテル小涌園
1月10日(木)				
1月15日(火)～	第168回計算機アーキテクチャ・第7回組込みシステム 合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC168EMB7.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/ARC168EMB7.html</a>	11月9日(金)	当日のみ	慶應義塾大学 日吉キャンパス
1月16日(水)				
1月17日(木)～	第161回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 <a href="https://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CVIM161.html">https://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/CVIM161.html</a>	10月30日(火)	当日のみ	龍谷大学
1月18日(金)				
1月18日(金)	短期集中セミナー2007「インターネット放送の現在と展望」 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/shortseminar/2007/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/shortseminar/2007/index.html</a>		1月11日(金) 定員になり次第	化学会館7Fホール
1月21日(月)～	第89回情報学基礎・第183回自然言語処理合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/FI89NL183.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/FI89NL183.html</a>	11月22日(木)	当日のみ	国立情報学研究所
1月22日(火)				
1月24日(木)～	第67回プログラミング研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/PRO67.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/PRO67.html</a>	11月21日(水)	当日のみ	東北大学電気通信 研究所
1月25日(金)				
1月24日(木)～	第144回データベースシステム・第66回グループウェアと ネットワークサービス・第19回放送コンピューティング 研究グループ合同研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBS144GN66.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DBS144GN66.html</a>	11月23日(金)	当日のみ	ホテル天坊(群馬県 渋川市伊香保町)
1月25日(金)				
1月29日(火)	ソフトウェアジャパン2008 <a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/forumindex.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/forumindex.html</a>			東京ステーションコン ファレンス
1月31日(木)～	第64回デジタルドキュメント研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DD64.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/DD64.html</a>	11月22日(木)	当日のみ	鳥取環境大学学生セン ター大集会室
2月1日(金)				
1月31日(木)～	第39回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 <a href="http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP39.html">http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2007/EIP39.html</a>	11月22日(木)	当日のみ	鳥取環境大学
2月1日(金)				
3月3日(月)～	インタラクシオン2008 <a href="http://www.interaction-ipsj.org/">http://www.interaction-ipsj.org/</a>	一般講演10月25日(木) インタラクティブ発表11月26日(月)	早期申込割引有	学術総合センター
3月4日(火)				
3月10日(月)～	ネットワーク生態学研究グループ 第4回シンポジウム <a href="http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html">http://www.jaist.ac.jp/~yhayashi/NetEcoG_top.html</a>		定員になり次第	京都産業大学
3月11日(火)				
3月13日(木)～	第70回全国大会			筑波大学
3月15日(土)	<a href="http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai/index.html">http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/70kai/index.html</a>			
6月11日(水)～	The 4th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2008) <a href="http://www.icmu.org/icmu2008/">http://www.icmu.org/icmu2008/</a>			東京(秋葉原)
6月13日(金)				
7月28日(月)～	SAINT2008 International Symposium on Applications and the Internet <a href="http://www.saintconference.org/">http://www.saintconference.org/</a>			フィンランド
8月1日(金)				
8月21日(木)～	4th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech2008)			和歌山県 (アバロン紀の国)
8月22日(金)				
9月2日(火)～	FIT2008 第7回情報科学技術フォーラム			慶應義塾大学 湘南藤沢キャンパス
9月4日(木)				

Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 10月15日 人材募集情報(10月)更新しました
- 10月5日 「音声ドキュメント処理」特集の論文募集
- 10月1日 重要なお知らせ「論文誌のオンライン出版(印刷物の廃止)について」
- 10月1日 平成20年度代表会員候補者募集
- 10月1日 平成19年度長尾真記念特別賞・業績賞候補者推薦募集
- 9月27日 「情報処理技術者試験新試験制度の手引(案)」-新試験制度審議委員会中間報告書-への提言
- 9月25日 短期集中セミナー「インターネット放送の現在と展望」参加申込受付を開始しました

[学会からのお知らせ]

- 10月17日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました
- 9月19日 論文誌(ジャーナル)の論文査読状況を更新しました

# 人材募集 (有料会告)



**申込方法:** 任意の用紙に件名、申込者氏名、勤務先、職名、住所、電話番号および請求書宛先、Web掲載の有無などを記載し、掲載希望原稿〔募集職種、募集人員、(所属)、専門分野、(担当科目)、応募資格、着任時期、提出書類、応募締切、送付先、照会先〕を添えて下記の申込先へE-mail、Faxまたは郵送にてお申し込みください。  
\*都合により編集させていただく場合がありますので、ご了承ください。

**申込期限:** 毎月15日を締切日とし翌月号(15日発行)に掲載します。

**掲載料金:** 国公立教育機関、国公立研究機関 21,000円(税込)  
賛助会員(企業) 31,500円(〃)  
賛助会員以外の企業 52,500円(〃)  
\*本誌へ掲載依頼いただいた場合に限り、追加料金4,000円で同一内容を本誌Webページに掲載できます。

**申込先:** 情報処理学会 会誌編集部門(有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375  
\*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

## \*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

### ■山形大学大学院理工学研究科

**募集人員** 教授 1名  
**専門分野** 情報科学  
**担当科目** アルゴリズムとデータ構造、論理回路、信号処理、認識工学など  
**応募資格** 博士の学位を有する方。大学院博士後期課程の教育・研究を担当できる方。専門分野の研究業績が顕著であり、さらに新しい分野の研究を展開している方  
**着任時期** 平成20年4月1日(予定)  
**提出書類** 履歴書(高等学校卒業以降の学歴、職歴)、研究業績リスト(学術研究論文、国際会議発表論文、著書、解説、特許、受賞歴、および外部資金取得状況に分類して記載)、教育に関する実績と抱負<sup>\*</sup>、研究に関する抱負<sup>\*</sup>、社会貢献活動(学会活動、地域貢献など)の実績<sup>\*</sup>、組織内業務と管理・運営などの実績<sup>\*</sup>、自己アピールしたいこと<sup>\*</sup>、主要な学術研究論文の別刷(5編以内、コピー可)、応募者について参考意見を伺える2名の方の所属・氏名と連絡先 \*A4用紙1枚以内  
**応募締切** 平成19年11月30日(必着)  
**送付先/照会先** 〒992-8510 山形県米沢市城南4-3-16 山形大学大学院理工学研究科 情報科学専攻長 教授 横山晶一  
 E-mail:yokoyama@yz.yamagata-u.ac.jp Tel(0238)26-3336 Fax(0238)26-3299  
 「教員(教授:情報科学)応募書類在中」と朱書き簡易書留  
 \*原則として、提出書類は返却しません。なお、提出書類の個人情報については、教員選考以外の目的には使用しません  
**その他** 【選考方法】専門分野、教育能力、研究能力、社会貢献および管理・運営能力の各評価項目について、書類による一次選考を行います。その後、選出された方に対して、聴講会、模擬授業および面接による二次選考を行います

### ■島根大学総合理工学部数理・情報システム学科

**募集人員** 准教授または講師 1名  
**専門分野** 情報工学/情報科学。特にオペレーティングシステム、コンパイラ、コンピュータネットワーク、計算機ハードウェアの各分野を優先します  
**担当科目** 原則として専門分野に近い情報系の講義・演習  
**応募資格** 博士号取得者で教育研究に熱意のある方。国籍、性別、宗教を問わない  
**着任時期** 平成20年4月1日以降のできるだけ早い時期  
**提出書類** 履歴書、研究業績(業務経歴を含む)、主要論文または報告書の別刷(5編以内、コピー可)、今後の教育・研究に対する抱負、参考意見をいただける方の氏名と連絡先  
**応募締切** 平成19年12月14日(必着)  
**送付先** 〒690-8504 島根県松江市西川津町1060 島根大学 総合理工学部長 竹内 潤  
 郵送の場合は、必ず「書留」にし「数理・情報システム学科(情報)教員応募書類在中」と朱書き  
**照会先** 数理・情報システム学科 田中章司郎 E-mail:tanaka@cis.shimane-u.ac.jp Tel(0852)32-6518  
**その他** 選考にあたっては書類審査後、面接を実施することがあります。選考結果は応募者ご本人に通知します  
 Webページ (<http://www.cis.shimane-u.ac.jp>)



## ■長岡技術科学大学

募集人員	特任准教授・講師(有期) 若干名
専門分野	電子デバイス・光波エレクトロニクス(フォトリソグラフィ・ナノデバイスなど)、インテリジェントコントロール、次世代アクチュエータ、パルスパワー、情報通信システム工学、知能・知識情報工学、情報融合創成工学
応募資格	上記のいずれかを専門とする研究者で、博士の学位を有しており、博士号取得後10年以内の研究者または同程度の研究経歴を有する方で、数年程度以上の大学・研究機関または企業での研究活動の経験が望まれます
着任時期	平成20年4月1日以降のできるだけ早い時期
応募締切	平成19年12月14日(必着)
照会先	若手人材選考委員会 副委員長 植松敬三 E-mail:toprun@vos.nagaokaut.ac.jp
その他	詳細情報Webページ ( <a href="http://www.nagaokaut.ac.jp">http://www.nagaokaut.ac.jp</a> )

## ■金沢大学工学部情報システム工学科

募集人員	助教 1名
専門分野	情報系分野
担当科目	情報系の科目(情報システム工学実験、プログラミング演習など)、学部生と院生(前期課程)の研究指導
応募資格	着任時に博士の学位を有する30歳くらいまでの方
着任時期	平成20年4月1日
応募締切	平成19年12月21日(必着)
照会先	情報システム工学科 教授 木村春彦 E-mail:kimura@blitz.ec.t.kanazawa-u.ac.jp Tel(076)234-4836
その他	詳細はWebページ ( <a href="http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/kinou/offer.html">http://www.t.kanazawa-u.ac.jp/kinou/offer.html</a> )を参照ください

## ■日本大学生産工学部数理情報工学科

募集人員	教授、准教授、助教または助手 3名
専門分野	Webデザイン関連分野、コンピュータグラフィクス、アニメーション、コンピュータゲーム、対話型アート・エンターテインメントシステム、情報メディア、コンピュータシステムなどの情報工学
応募資格	教授：大学院博士後期課程における教育・研究の指導力を有する方で、博士の学位を有すること 准教授：博士の学位を有すること。大学院における教育・研究の指導力を有する方、またはソフトウェア開発の実務経験がある方が望ましい
着任時期	平成20年4月1日
提出書類	履歴書(学歴、職歴、教育歴、所属学会名、学会活動、社会活動など)、研究業績リスト(博士論文、学会論文、国際会議論文、解説論文、著書、特許などに分けて記載)、主要論文別刷(コピー可)、教育に対する抱負(1000字程度)、研究に対する抱負(1000字程度)、応募者について所見をいただける方2名の連絡先(E-mailアドレス/電話番号)
応募締切	平成19年12月21日(必着)
送付先/照会先	〒275-8575 千葉県習志野市泉町1-2-1 日本大学生産工学部数理情報工学科 学科主任 篠原正明 E-mail:m7sinoha@cit.nihon-u.ac.jp Tel(047)474-2650(事務室)「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留

## ■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報処理学専攻 (Advertisement of posts in Graduate School of Information Science of JAIST)

募集人員 助教 1名(任期付き)  
 所 属 自然言語処理学講座  
 専門分野 自然言語処理, 人工知能, 認知科学に関する理論, 技術および応用. 特に, 文法・辞書の開発・管理, 知識獲得, 言語理解, 音声理解, 生成, 対話理解, 談話理解, 応用システム(機械翻訳, 情報検索, 要約, 情報抽出, 対話システム, 自然言語インターフェース)など  
 応募資格 博士の学位を有し, 上記分野の研究と教育に熱意のある方  
 着任時期 平成20年4月1日以降  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(著書, 論文誌, 国際会議論文, その他に区別), 主要論文別刷(3編以内, コピー可), 主たる研究概要および今後の研究計画(2000字程度), 教育への抱負(2000字程度), 意見を伺える方2名の氏名・所属と連絡先(E-mailアドレスを含む)  
 応募締切 平成19年12月31日(必着)  
 送付先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 島津 明  
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または書留  
 照会先 情報科学研究科 研究科長秘書 E-mail:misae@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1155(直通) Fax(0761)51-1149(事務室)  
 その他 【任期】5年(再任なし)  
 【選考方法】これまでの業績および必要に応じ照会者の意見を参考に選考いたします。業績については, 学会論文の数などによらず, 主要な業績の内容, 内外の評価などを考慮します。なお, 評価が同等の場合, 女性, 外国人を優先します。選考の途中で, 提出いただいた資料に関する説明や, 講演などをお願いすることがあります  
 本学に関する詳しい情報は, Webページ(<http://www.jaist.ac.jp/>)をご覧ください  
 For information in English, please see <http://www.jaist.ac.jp/english/research/employment.htm>

## ■北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科情報システム学専攻 (Advertisement of posts in Graduate School of Information Science of JAIST)

募集人員 助教 1名(任期付き)  
 所 属 言語設計学講座  
 専門分野 ソフトウェア科学・工学と計算機言語システム, 特にシステムのモデル化と検証に関する理論, 言語, 手法, ツールとその応用  
 応募資格 着任時に博士の学位を有し, 上記分野の教育および研究に熱意を有する方. 新進気鋭の方を歓迎します  
 着任時期 平成20年4月1日以降できる限り早い時期  
 提出書類 履歴書, 研究業績リスト(研究論文は, 国際論文誌, 査読付き国際会議, 国内の論文誌, その他に分けて年代の逆順にリストしてください。研究論文とは別に, 雑誌の編集委員や国際会議のプログラム委員などの学術的貢献のリストも含めてください), 主要論文別刷(5編程度, コピー可, 評価の参考になる特記すべき事項や資料(たとえばその論文を引用している論文など)があれば, 必要に応じ説明を付し添付してください), これまでの研究の概要および今後の研究計画(2000字程度), 教育に対する抱負(2000字程度), 照会者2名の連絡先(E-mailアドレスを含む, 照会者への照会は, 選考の過程で必要に応じて行います)  
 応募締切 平成20年1月4日(必着)  
 送付先 〒923-1292 石川県能美市旭台1-1 北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科 研究科長 島津 明  
 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留または書留  
 照会先 情報システム学専攻言語設計学講座 二木厚吉 E-mail:kokichi@jaist.ac.jp Tel(0761)51-1255(直通) Fax(0761)51-1149(事務室)  
 その他 【任期】5年(再任なし)  
 【選考方法】これまでの研究業績および必要に応じて照会者の意見を参考に候補者を決定いたします。研究業績については, 主要な業績の内容とその国内外の評価, 発表論文の発表先と数などを考慮いたします。論文誌のみならず, 重要な国際会議の論文も評価いたします。国際的に評価されている研究成果を特に高く評価いたします。選考の途中で, 提出いただいた資料に関する説明やその他の資料の提出, 講演などをお願いする場合があります。また, 評価が同等の場合, 女性, 外国人を優先します。応募の秘密を厳守いたします  
 本学に関する詳しい情報は, Webページ(<http://www.jaist.ac.jp/>)をご覧ください  
 For information in English, please see <http://www.jaist.ac.jp/english/research/employment.htm>

## ■宇部工業高等専門学校制御情報工学科

募集人員 助教 1名  
 専門分野 情報工学  
 担当科目 情報処理関連科目、実験・実習、卒業研究、特別研究など  
 応募資格 採用予定時の年齢がおおむね35歳までの方。博士またはPh.Dの学位、あるいは技術士の資格を有する方、もしくは平成20年3月末までに取得見込みの方。情報工学系出身の方。高専の教育・研究および学生指導（学級担任、クラブ指導、プログラミングコンテストなどに熱意のある方）  
 着任時期 平成20年4月1日（予定）  
 提出書類 履歴書（市販用紙に本人自筆、E-mailアドレスがあれば記入）、著書・論文リスト（A4用紙を用いて、学術論文・著書・研究発表・その他に分類して、発表年月、巻、号、ページを付して発表年月順に記載すること。共著の場合には共著者をすべて記入すること。論文については査読の有無を明記すること）、主要論文別刷（5編程度、コピー可）、高専における教育・研究および学生指導に対する抱負（1000字程度）  
 応募締切 平成20年1月15日（必着）  
 送付先 〒755-8555 山口県宇部市常盤台2-14-1 宇部工業高等専門学校 総務課人事係 「応募書類（制御情報工学科）在中」と朱書き簡易書留 \*応募書類は原則返却しません  
 照会先 制御情報工学科長 山根健治 E-mail:yamanek@ube-k.ac.jp Tel(0836)35-4989 Fax(0836)21-7117  
 その他 【選抜方法】一次選考：書類審査 二次選考：一次選考合格者に対してのみ面接審査（実施日時は、後日一次選考合格者に直接お知らせします）

## ■九州大学情報基盤研究開発センター

募集人員 学術研究員（計算科学専門研究員）3名程度  
 専門分野 計算科学（分子科学、線形計算、電磁気学、地震学、ナノサイエンスなど）  
 応募資格 国籍は問わないが、本センターの利用者の相談に応じるだけの日本語能力を有すること。さらに、博士号を有する方で、並列化技術（MPI, OpenMP）、分子科学計算（Gaussian03およびAmber9またはVASPなど）、可視化技術、グリッドコンピューティング技術などの利用経験を有する方が望ましい  
 職務内容 本センターの利用者に対する専門分野のエキスパートとしてのコンサルティングおよび本センターのスーパーコンピュータを使った共同研究の推進  
 着任時期 平成20年4月以降のできる限り早い時期  
 提出書類 履歴書、業績リスト、主要研究業績別刷（2編以内、コピー可）、これまでの研究概要および着任後の職務内容に対する抱負（それぞれA4用紙1枚程度）、照会可能な方1名の氏名・連絡先・E-mailアドレスなど  
 応募締切 平成20年1月19日（必着）  
 送付先 〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 九州大学情報基盤研究開発センター 情報システム部情報基盤課庶務係 山本敏彦 Tel(092)642-2303 「計算科学専門研究員応募書類在中」と朱書き書留 \*応募書類は返却しません  
 照会先 情報基盤研究開発センター准教授 南部伸孝 E-mail:nanbu@cc.kyushu-u.ac.jp Tel(092)642-4029 Fax(092)642-3844  
 その他 【任期】3年間（再任なし）  
 【選考方法】書類選考および面接  
 【待遇】経歴に応じて「特任助教」あるいは「特任准教授」の称号を付与する

## ■東京工業大学精密工学研究所知能化学工部門

募集人員 特任研究員（ポストドクターに相当）1名  
 所属 張研究室  
 専門分野 ステレオビジョン、コンピュータビジョン、ロボットビジョン  
 応募資格 理・工学の博士号保持者または取得予定者。修士号を保持し、企業で研究実績があり博士号取得に意欲のある方。専門分野で意欲と協調性を持って研究に取り組んでいただける方  
 着任時期 平成20年4月（相談に応じます）  
 提出書類 学歴・職歴などを含む履歴書、研究実績・習得技術（形式は自由）、志望動機（形式は自由）  
 応募締切 適任者が決まり次第、募集は終了します  
 送付先/照会先 〒226-8503 神奈川県横浜市緑区長津田町4259 R2棟810室 東京工業大学精密工学研究所知能化学工部門 准教授 張曉林 E-mail:zhang@pi.titech.ac.jp Tel/Fax(045)924-5083  
 \*提出書類は返却いたしませんのでご了解ください  
 その他 【期間】2年間（1年の延長の可能性あり）  
 【勤務地】東京工業大学すずかけ台キャンパス R2棟 精密工学研究所 張研究室  
 【賃金】年棒530万円（実績により若干の加減あり）  
 【勤務形態・保険】東京工業大学の規定に準じます  
 研究室については、Webサイト（<http://www.zhang.pi.titech.ac.jp/>）をご覧ください



# ソフトウェアジャパン 2008 開催のご案内

## テーマ：仮想社会が何をもたらすか

<http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/forum/software-j2008/>

**開催日時：**平成 20 年 1 月 29 日 (火) 9:30-17:35  
**開催会場：**東京ステーションコンファレンス (JR 東京駅 八重洲北口より徒歩 2 分)  
**主催：**情報処理学会

**協賛：**独立行政法人 情報処理推進機構ソフトウェア・エンジニアリング・センター, 社団法人 情報サービス産業協会,  
 社団法人 日本情報システムユーザ協会, 社団法人 電子技術産業協会, XML コンソーシアム,  
 社団法人 電子情報通信学会, 日本ソフトウェア科学会

**後援：**文部科学省, 総務省, 経済産業省

情報処理学会では IT プロフェッショナル(実務家)のためのシンポジウムとして 2004 年度から毎年度「ソフトウェアジャパン」を開催しております。本シンポジウムは、ソフトウェア分野の産・官・学の交流を促進する場として、また実務家へのサービスの一環として開催をスタート致しましたが、現在はソフトウェア産業のみならず IT に関する幅広い課題を実務家の視点からオープンに議論できる開かれたコミュニティとして当会で 2006 年度より活動をスタートしたオンラインミーティングを中心とする「IT フォーラム」にも本イベントに参画いただくことで、より幅広い内容についての議論ができる場となっております。現在は以下 8 つのフォーラムが立ち上がり活動しております。

サービスサイエンスフォーラム / Web2.0 フォーラム / ユーザスタディフォーラム / イノベティブ社会基盤フォーラム / 福祉情報システムフォーラム / IT ダイバーシティフォーラム / 高度 IT 人材育成フォーラム / IT アーキテクト/CIO フォーラム

このような背景のもと、IT 関連業界において現場で活躍されている産業界の方々を中心に、学界・官公庁関係の方々、次世代を担う若手の技術者・研究者の方々等、社会の多くの方々がともに問題意識を共有し議論、交流を深められる場として「ソフトウェアジャパン 2008」を開催致します。皆様奮ってご参加ください。

- **参加費** : 一般(会員・非会員共):5,000 円 / 一般 IT フォーラム登録者(会員・非会員共):無料  
 学生(会員・非会員共):無料
- **参加申込** : 標記のソフトウェアジャパン 2008 Web ページから申込み下さい。
- **参加申込締切** : 平成 20 年 1 月 22 日(火)17:00
- **問合せ先** : 情報処理学会事業部門 Tel.(03)3518-8373 E-mail:jigyo@ipsj.or.jp 詳細は Web ページをご覧ください。

### ■全体プログラム

<b>9:30-11:55 第1セッション:バーチャルワールド セッション</b> <span style="float: right;">[会場 5F サビアホール]</span>	
9:30-10:15	招待講演(1)「仮想世界にあるリアリティ」 佐々木 博 (オフィス創庵 代表取締役)
10:20-11:05	招待講演(2)「リアルとバーチャルのあいだ」 廣瀬 通孝 ((東京大学大学院情報理工学系研究科 教授)
11:10-11:55	招待講演(3)「デジタル物づくりのめざすもの」 間瀬 俊明 (デジタルプロセス(株) 代表取締役社長)
<b>11:55-12:05 IT フォーラムの紹介 (IT フォーラムセッションのイントロダクション)</b> <span style="float: right;">[会場 5F サビアホール]</span>	
徳田 英幸 (情報処理学会 技術応用運営委員会委員長, 慶應義塾大学環境情報学部教授兼政策・メディア研究科委員長)	
<b>12:05-13:15 ランチ懇親会(無料)</b> ※参加申込者の方は無料でご参加頂けます <span style="float: right;">[会場 6F 605ABC 606]</span>	
<b>13:15-15:15 第2セッション:IT フォーラム セッション</b> *各フォーラムセッションのプログラムは次ページ以降参照 <span style="float: right;">[会場 各 IT フォーラム会場]</span>	
以下 7 つの IT フォーラムによるセッション ・サービスサイエンスフォーラム ・Web2.0 フォーラム ・ユーザスタディフォーラム ・イノベティブ社会基盤フォーラム ・福祉情報システムフォーラム ・IT ダイバーシティフォーラム ・高度 IT 人材育成フォーラム	
<b>15:30-17:35 第3セッション:ザ・ジャパンソフトウェア セッション</b> <span style="float: right;">[会場 5F サビアホール]</span>	
15:30-16:30	招待講演(1)「Diversity を Innovation に生かす — Diversity (多様性) の取り組みの経営的意義と多様な視点を Innovation に生かす仕組み—」(仮題) 内永 ゆか子 (日本アイ・ビー・エム(株) 技術顧問)
16:35-17:35	招待講演(2)「ゲーム木探索の最適制御 —将棋における局面評価の機械学習—」 保木 邦仁 (東北大学大学院理学研究科 助教)

## ■第2セッション：ITフォーラムセッション プログラム (13:15-15:15)

サービスサイエンス フォーラム 「サービスサイエンスの具体的な取り組み」		[会場 5F 503A]
<p><b>【セッション概要】</b>サービスサイエンスへの期待は高まっており、具体的な取り組みが始まりつつある。そこで本セッションではまず菊池隆先生(東京工業大学経営工学系特任教授)にサービスの本質について話していただき、次に諏訪がサービスサイエンスの一つの大きなテーマである「サービスの定義」を提言する。これまでに作られてきたサービスの定義を振り返り、今回新しい「サービスの定義」を紹介する。パネルディスカッションでサービスの本質とサービスの定義を議論し、サービスサイエンスの理解を深める。</p>		
13:15-13:55	講演1「サービスの本質に迫る」 菊池 隆 (東京工業大学 経営工学系 特任教授)	
13:55-14:15	講演2「サービスを定義する」 諏訪 良武 (ワクコンサルティング(株) 常務執行役員)	
14:25-15:15	パネル討論「サービスの本質とサービスの定義」 司 会:門倉 純一 (日本アイ・ビー・エム(株)) パネリスト:安部 忠彦 ((株)富士通総研 取締役) 菊池 隆 (東京工業大学 経営工学系 特任教授) 岸良 裕司 ((株)ビーイング 取締役) 諏訪 良武 (ワクコンサルティング(株) 常務執行役員) 日高 一義 (日本アイ・ビー・エム(株))	
Web2.0 フォーラム 「知識管理革新の手段としての Web 2.0」		[会場 5F 503B]
<p><b>【セッション概要】</b>準備中</p>		
13:15-14:05	講演「KM 2.0 の可能性」 栗原 潔 ((株)テックバイザージェイビー 代表取締役・弁理士/金沢工業大学 客員教授)	
14:15-15:15	パネル討論「企業内 Web 2.0 の可能性と課題」 司 会:栗原 潔 ((株)テックバイザージェイビー 代表取締役・弁理士/金沢工業大学 客員教授) パネリスト:砂金 信一郎 (リアルコム(株) 製品マーケティング マネージャー) 渡辺 聡 (渡辺聡事務所 代表)	
ユーザスタディ フォーラム 「ビジネス・エスノグラフィ入門」		[会場 5F 503C]
<p><b>【セッション概要】</b>多くの企業が、従来の仮説検証型のユーザ調査に限界を感じ、エスノグラフィに代表される仮説構築型の調査技法に注目を始めている。しかし、これまでのエスノグラフィは、長期間にわたるフィールドワークと解釈の繰り返しによって成立し、また、プロセスの標準化が進んでいないことなどから、時間や人材に限りのあるビジネスのフロントラインでは導入しづらいという問題があった。そこで、本セッションでは、エスノグラフィの本質を生かしつつ、企業のビジネスプロセスに則った調査技法を紹介する。「ビジネス・エスノグラフィ」と呼ばれるこれらのテクニックは、講演者らによって開発・体系化が進められているものですが、同様の流れは、米国で2005年に開始された、EPIC (Ethnographic Praxis in Industry Conference) という国際会議の存在にも見て取ることができる。本セッションでは、合わせて、2007年10月に開催されたEPIC2007における主要な話題をまとめて紹介する。</p>		
13:15-14:05	講演1「ビジネス・エスノグラフィ入門ー技法と実践」 田村 大 ((株)博報堂 研究開発局 上席研究員)	
14:15-15:15	講演2「米国のビジネス・エスノグラフィーEPIC2007での話題(1)」 新井田 統 ((株)KDDI 研究所 特別研究員) 「米国のビジネス・エスノグラフィーEPIC2007での話題(2)」 久保隅 綾 (コニカミノルタテクノロジーセンター(株) 研究員)	
イノベティブ社会基盤 フォーラム 「イノベーションの現場から」		[会場 5F 503D]
<p><b>【セッション概要】</b>イノベティブ社会基盤フォーラムは、企業組織や社会におけるイノベーションを高めるためにどのような取り組みが必要かという問題意識を持ち、イノベーションが高いと考えられる企業へのインタビューや関連文献の調査を行い、その具体的解明に向けた取り組みを進めている。取り組みの代表的なものとして、各組織におけるイノベーションの度合いを評価するための指標として「イノベーションテスト」を考案し、各企業を分類している事があげられる。昨年度のセッションでは、この「イノベーションテスト」に基づいた分析結果を発表した(昨年度の内容については、<a href="http://www.itmedia.co.jp/bizid/articles/0701/25/news105.html">http://www.itmedia.co.jp/bizid/articles/0701/25/news105.html</a>)。今回のセッションでは、昨年のセッション以降に取り組んできた様々な企業インタビューや議論から得られた知見を紹介すると共に、各企業内でイノベーションを高めるためにどのような取り組みが必要であるかという点について、来場者の方々と共に議論していく。(前回に引き続き、来場者の方々はPCを持参下されば、議論に参加できる仕組みを提供する事を予定しています)。</p>		
13:15-13:45	基調講演「組織におけるイノベーションを探る」 許斐 俊充 (日本ナショナルインスツルメンツ(株) マーケティング部 部長)	
13:55-15:15	パネル討論 司 会:斎藤 健二 (アイティメディア(株)ビジネス・メディア事業部長) パネリスト:大向 一輝 (国立情報学研究所 コンテンツ科学研究系 助手) 小野 和俊 ((株)アプレzzo 代表取締役副社長 CTO) 楠 正憲 (マイクロソフト(株) 技術統括室 CTO 補佐) 許斐 俊充 (日本ナショナルインスツルメンツ(株) マーケティング部 部長) 神成 淳司 (慶應義塾大学 環境情報学部 専任講師) 中嶋 謙互 (コミュニティーエンジン(株) 代表取締役 CEO)	

福祉情報システム フォーラム 「リアルタイム情報保障の現場」		[会場 6F 602A]
<p><b>【セッション概要】</b>会議・講演などのリアルタイム情報保障をとりあげる。法廷の速記官は、特殊な同時打鍵法を用いる専用のタイプライタにより、ひとりで、長時間、リアルタイムに裁判記録を残していく。電子速記タイプの速記記号を取り込み和文に直すためのソフトウェア「はやとくん」は、裁判記録の迅速な反訳に貢献してきた。その「はやとくん」がリアルタイム情報保障の担い手としても注目されている。本セッションでは、「はやとくん」の開発者である遠藤氏から「速記技術『はやとくん』の文字出力」、同じく「IPtalk」の開発者である栗田氏から「パソコン要約筆記の特徴と入力方法の改良」という演題で、それらの特徴や開発の背景、最近の動向についてお話を伺う。また、「ソフトウェアの連携による手頃な字幕提示方式」として、プレゼンソフトとの連携により行ってきた手頃な字幕提示を、情報保障ソフト間で行う際の課題等についても整理する。また、本セッションの講演は、ワードワープの春名氏らの手により「はやとくん」によって字幕化される。</p>		
13:15-13:30	講演 1 「電子速記『はやとくん』を伝えたい」 春名 邦子 ((株)ワードワープ 取締役)	
13:30-14:00	講演 2 「速記技術『はやとくん』の文字出力」 遠藤 基資 (電子速記研究会 会長)	
14:00-14:30	講演 3 「パソコン要約筆記の特徴と入力方法の改良」 栗田 茂明 (パソコン要約筆記サークル「ラルゴ」 会長)	
14:30-14:45	講演 4 「ソフトウェアの連携による手頃な字幕提示方式」 萩川 友宏 (静岡大学 情報学部 助手)	
14:45-15:15	パネル討論 司 会:萩川 友宏 (静岡大学 情報学部 助手) パネリスト:遠藤 基資 (電子速記研究会 会長) 栗田 茂明 (パソコン要約筆記サークル「ラルゴ」 会長)	
ITダイバーシティ フォーラム 「企業の経営課題:女性の活躍を加速するダイバーシティマネジメント」		[会場 6F 602B]
<p><b>【セッション概要】</b>昨今ダイバーシティマネジメントは、IT企業にとって大きな経営課題の一つとなっており、推進のための部署や委員会を設置し、女性のリーダーをアサインする企業が増えてきている。ITダイバーシティフォーラムのセッションでは、このような企業の取り組みを紹介してもらい、真に女性の活躍を加速するには、組織としてどのような施策があるか、どう展開すれば役立つかを考えたい。本セッションの講演者は、研究者、技術者であり、現在はそれぞれの企業のダイバーシティマネジメントに関わっている女性である。なお、ザ・ジャパンソフトウェア セッションで、日本アイ・ビー・エム株式会社技術顧問の内永ゆか子氏が講演されるが、氏は日本におけるダイバーシティマネジメントの開拓者でもあり、講演の中でダイバーシティマネジメントも取り上げて頂く。</p>		
13:15-15:15	パネル討論 司 会:安信 千津子 ((株)日立コンサルティング テクニカルディレクター) パネリスト:岩切 貴乃 ((株)東芝 多様性推進部 部長) 中島 淑乃 (伊藤忠テクノソリューションズ(株) エンタープライズビジネス第2本部文教システム部 部長) 藤本 昌代 ((株)日立製作所 情報・通信グループ 女性カウンセル副リーダー)	
高度IT人材育成 フォーラム 「ソフトウェアプロセス改善と人材育成」		[会場 6F 602C]
<p><b>【セッション概要】</b>ソフトウェア品質を保証し、ソフトウェア開発リスクを低減するためには、開発組織に適合したソフトウェアプロセスを定義して実践すると同時に、プロセスを継続的に改善するためのPDCAサイクルを構築する必要がある。IPA/SECは、ISO/IEC 15504に基づいたプロセス改善の推進の一環としてソフトウェアプロセスのアセスメントモデル SPEAK IPA版を開発し、平成19年9月に公表した。また、平成19年末にはSPEAK IPA版に基づいたアセッサの教育についてもまとめる予定である。ソフトウェアプロセス改善を進めるためには、プロセスの定義・実践・改善を行える人材の育成はもとより、ソフトウェアプロセスを評価するアセッサの育成が不可欠である。本セッションでは、産業構造審議会 人材育成WGが発表した「高度IT人材の育成をめざして」や、総務省が推進している「情報システム調達に係る政府調達の基本方針」等との関連も含め、ソフトウェアプロセス改善やそれを支えるIT人材育成を推進するための方策について議論を行う。</p>		
13:15-13:35	講演 1 「ユーザー企業におけるプロセス改善の取り組み」 足立 久美 ((株)デンソー 電子技術3部 品質リーダー 主幹(次長))	
13:35-13:55	講演 2 「プロセス改善に関するアセスメントの取り組み」 北野 敏明 (IPA ソフトウェア・エンジニアリング・センター エンタープライズ系プロジェクト研究員)	
13:55-14:15	講演 3 「プロセス改善における人材育成の重要性」 掛下 哲郎 (佐賀大学 理工学部 知能情報システム学科 准教授)	
14:15-15:15	パネル討論 「日本におけるプロセス改善の普及と人材育成の課題」 司 会:新谷 勝利 (IPA ソフトウェア・エンジニアリング・センター エンタープライズ系プロジェクト研究員) パネリスト:足立 久美 ((株)デンソー 電子技術3部 品質リーダー 主幹(次長)) 小浜 耕己 (住生コンピュータサービス(株) 品質保証部 統括マネジャー) 掛下 哲郎 (佐賀大学 理工学部 知能情報システム学科 准教授) 北野 敏明 (IPA ソフトウェア・エンジニアリング・センター エンタープライズ系プロジェクト研究員)	



# 参加募集 APSEC 2007 イン 名古屋

第 14 回アジア太平洋ソフトウェア工学国際会議  
 場所: ミッドランドスクエア(名古屋駅前) 会期: 2007 年 12 月 3-7 日

<http://apsec2007.fuka.info.waseda.ac.jp/>



有  
料  
会  
告

## 実行委員会

### Conference Co-Chair:

Eiiti Hanyuda, Mamezou  
 Mikio Aoyama, Nanzan U.

### Program Chair:

Katsuhisa Maruyama,  
 Ritsumeikan U.

### Industry Liaison Chair:

Kiyoshi Agusa, Nagoya U.

### Workshop Chair:

Osamu Shigo, Tokyo Denki U.

### Tutorial Chair:

Makoto Nonaka, Toyo U.

### Local Arrangement Chair:

Masami Noro, Nanzan U.

### Exhibition Chair:

Hajimu Iida, NAIST

### Publicity Chair:

Hironori Washizaki, NII

### Finance Chair:

Rieko Yamamoto, Fujitsu  
 Laboratories

### Registration Chair:

Makoto Matsushita, Osaka U.

### Publication Chair:

Takashi Kobayashi, Nagoya U.

### Web Master:

Atsuto Kubo, Waseda U.

## テーマ: Software Engineering Innovation Everywhere

Asia-Pacific Software Engineering Conference (APSEC)は、ソフトウェア工学を扱うアジア太平洋地域を代表する国際会議です。当該分野では、米国を中心とする ICSE, ヨーロッパを中心とする ESEC と並び、世界で 3 指に入ります。アジア太平洋地域を中心に、世界中の企業、大学、政府機関などから著名な技術者・研究者が多数参加するとともに、その論文集は IEEE Computer Society から発行され、世界に広く流通しています。APSEC2007 は、至る所におけるソフトウェア工学革新をテーマに、日本の「物づくり」の中心地である名古屋で開催されます。特に、アジア太平洋地域では、情報家電、自動車などのユビキタス/組込みソフトウェアや、ネットワークソフトウェアへの関心が高まっており、これらの諸問題と研究開発、ならびに、実践経験に触れて議論および交流する好機です。世界的リーダによる基調講演・招待講演をはじめ、チュートリアル、ワークショップ、研究・経験論文発表、ポスター/ツール展示など、充実したプログラムを予定しています。是非ご参加ください。

### 12月3日(月): ワークショップ

Accountability and Traceability in Global Software Engineering (ATGSE2007)  
 Management and Economics of Software Product Lines (MESPUL)  
 Software Patterns and Quality (SPAQu' 07)

### 12月4日(火): ワークショップ, チュートリアル

Service Oriented Architecture  
 Software engineering education  
 Software Productivity Analysis  
 and Cost Estimation (SPACE' 07)

チュートリアル 1: Muhammad Ali Babar,  
 "Evaluating Product Line Architectures:  
 Methods and Techniques"  
 チュートリアル 2: Michael Jackson,  
 "The Problem Frames Approach to Software  
 Engineering"

### 12月5日(水): 基調講演, 論文発表, ポスター, レセプション

基調講演: Michael Jackson, "Specialising in Software Engineering"

要求工学,  
 アスペクト指向ソフトウ  
 エア

テスト・解析,  
 メトリクス・測定

サービス指向・Web,  
 コンポーネント・再利用,  
 保守・進化

### ポスター, レセプション

### 12月6日(木): 基調講演, 論文発表, パネル討論, ツール展示, バンケット

基調講演: Hiideyuki Tokuda, (タイトル未定)

形式手法,  
 セキュアソフトウェア

アーキテクチャ・設計,  
 プロセス

組込みシステム,  
 実証的ソフトウェア工学,  
 パネル討論(未定)

### バンケット

### 12月7日(金): 招待講演, 論文発表, ツール展示, ツアー

招待講演: (未定)

ソフトウェアプロダクト  
 ライン

ツール・開発環境

品質マネジメント

### トヨタ ツアー (トヨタ会館&工場見学)

## 参加費

(通常・現地申込)

[本会議+全ワークショップ・チュートリアル]

情報処理学会ソフトウェア  
 工学研究会会員 50,000 円

一般 60,000 円

学生 20,000 円

[ワークショップ・チュート  
 リアル単独]

ワークショップあたり:

会員, 一般 12,000 円

学生 8,000 円

全チュートリアル:

会員, 一般 12,000 円

学生 8,000 円

APSEC2007 は情報処理学会ソフトウェア工学研究会の主催です。問い合わせ先: [apsec2007inquiry@nii.ac.jp](mailto:apsec2007inquiry@nii.ac.jp)

## ◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

### 記

#### ■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	(主催・共催)	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			(協賛)	
広告として取り扱う				
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法 任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

#### ■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。  
 (1 ページ) 天地 260mm × 左右 175mm  
 (1/2 ページ) 天地 130mm × 左右 175mm  
 (1/4 ページ) 天地 65mm × 左右 175mm  
 \* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。  
 [募集職種，募集人員，(所属)，専門分野，(担当科目)，応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]  
 \* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限 毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金 掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先 (社) 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係)  
 〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F  
 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375



1年前にISO/IEC JTC 1/SC 23の国際セクレタリ業務を引き継ぎました。

9月20日にスイスのモントルーでSC 23 総会が開催され、セクレタリとして初めて国際会議に出席しました。午前中のAd hoc会議に続いて午後からの半日で総会が行われ、最後にResolutionsを確認して承認するため、会議中にDraft Resolutionsを作成していきました。出張前にある程度ドラフトしていたものに修正・追加し、Drafting Committeeの方の力もお借りして仕上げたのですが、集中力がないというか「ながら」作業というのがとても苦手なことに（改めて）気がきました。初めての会議で慣れていないせいもあるかもしれませんが、いつ質問がくるかと緊張しながら会議に耳を傾けつつ、Resolutionsを修正・作文しようとする、気持ちが分散し

ぎてしまい、文章がまともに考えられなくなってしまうのです。慣れれば瞬発力がついて、次の議題に移る前に適切な文章が思いつき、素早く書けるようになるのかもしれませんが、それでも会議中に書く方と聞く方への集中度合いの切り替えをうまくできるようになりたいと思いました。それ以前に、もっと集中力をつける必要があると感じました。

Resolutions確認の議題に入る前に、委員の方には休憩をとってもらい、その間に文章の見直しや調べものをしたのですが、ここで委員の皆さんを長らくお待たせしてしまいました。休憩は景色の素晴らしい外のテラスでとることができ、この日のモントルーは幸い気持ちの良い秋晴れだったのが、委員の方たちには不幸中の幸い(?)だったでしょうか。

(長澤有由子/規格部門)



～\*～\*～ 会員サービスのご案内 ～\*～\*～

会員の皆様に特典としてご利用いただける各種サービスをご案内いたします（本会 Web ページ：<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/service-ta.html> 参照）。会員特典等にご意見ご要望等がございましたら事務局会員サービス部門（E-mail:mem@ipsj.or.jp）までお寄せください。

**ホテル（10～53%割引）**

サンルートホテル、ホテル法華クラブ、JR ホテルグループ、東急ホテルズ、プリンスホテル、  
阪急阪神第一ホテルグループ、JR 東日本ホテルチェーン、グランビスタホテル&リゾート、都ホテルズ & リゾーツ、  
ホテル京急グループ、ダイワロイヤルホテルズ、エイチアールエヌ、ウィクリーマンション東京

**レンタカー（10～51%割引）**

ニッポンレンタカー、日産レンタカー、マツダレンタカー

**パック旅行（3～7%割引）**

日本旅行、近畿日本ツーリスト、トップツアー、京王観光、ジャルパックサービス、エンターティメントエクスプレス

**その他（書籍・コンピュータソフト割引販売、レンタルオフィス）**

UC 丸善アカデミックカード、バーシティウェブ（教育機関所属の方はアカデミック価格で）、デスカット、  
日本工業技術振興協会

**ITText 一般教育シリーズ  
情報システム基礎**

神沼靖子 編著  
A5判/228頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ  
情報とコンピューティング**

河村一樹 編著  
A5判/218頁/本体2,500円(税別)

**ITText 一般教育シリーズ  
情報と社会**

駒谷昇一 編著  
A5判/220頁/本体2,500円(税別)



新刊!!

**ITText 組込みシステム**

阪田史郎 著 高田広章 編著  
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

**ITText システムLSI設計工学**

藤田昌宏 編著  
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

**ITText データマイニングの基礎**

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著  
A5判/292頁/本体3,200円(税別)

好評既刊書

**ITText コンパイラとバーチャルマシン**

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著  
A5判/212頁/本体2,800円(税別)

**ITText コンピュータグラフィックス**

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・向井信彦 共著  
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

**ITText コンピュータネットワーク**

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著  
A5判/216頁/本体2,500円(税別)

**ITText 音声認識システム**

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著  
A5判/216頁/CD-ROM付/本体3,500円(税別)



**ITText エージェント工学**

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著  
A5判/226頁/本体2,800円(税別)

**ITText ヒューマンコンピュータインタラクション**

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著  
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

**ITText オペレーティングシステム**

野口健一郎 著  
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

**ITText データベース**

速水治夫・宮崎収兄・山崎晴明 共著  
A5判/196頁/本体2,500円(税別)

**ITText ソフトウェア工学演習**

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著  
A5判/228頁/本体2,800円(税別)

**ITText 情報リテラシー**

海野 敏・田村恭久 共著  
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

**ITText 人工知能**

本位田真一 監修・松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著  
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

**ITText コンピュータアーキテクチャ**

内田啓一郎・小柳 滋 共著  
A5判/236頁/本体2,800円(税別)

**ITText 応用Web技術**

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著  
A5判/210頁/本体2,500円(税別)

**ITText 認知インタフェース**

加藤 隆 著  
A5判/248頁/本体2,800円(税別)

**ITText プログラム仕様記述論**

荒木啓二郎・張 漢明 共著  
A5判/210頁/本体2,800円(税別)

**ITText 情報と職業**

駒谷昇一・辰己丈夫・橋元範明 共著  
A5判/232頁/本体2,500円(税別)

**ITText アルゴリズム論**

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著  
A5判/242頁/本体2,800円(税別)

**IT Text ソフトウェア開発**

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著  
A5判/224頁/本体2,800円(税別)

**ITText 基礎Web技術**

松下 温 監修/市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著  
A5判/200頁/本体2,500円(税別)

**ITText 知識マネジメント**

大澤幸生 編著  
A5判/232頁/本体2,800円(税別)

**ITText 情報セキュリティ**

宮地充子・菊池浩明 編著  
A5判/280頁/本体3,000円(税別)

**ITText 分散処理**

谷口秀夫 編著  
A5判/240頁/本体2,800円(税別)

**ITText Linux演習**

前野謙二・落合 昭・生野莊一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著  
A5判/224頁/本体2,500円(税別)

**ITText インターネットプロトコル**

阪田史郎 編著  
A5判/272頁/本体2,800円(税別)

お申し込みは



101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1  
TEL 03(3233)0641 FAX 03(3293)6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>  
本体価格(税別)は変更する場合があります。

## ご意見をお寄せください!

【12月10日頃までにお出しく下さい】

宛先 (社) 情報処理学会 モニタ係 (下記のいずれからも送付できます)

<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq4811.html> Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp

(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)

※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。  
<http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>

[コード]

1. ご氏名
  2. ご所属 Tel. (            )            -
  3. E-mail:
  4. 業種：(a) 企業 (サービス業) (b) 企業 (製造業) (c) 研究機関 (d) 教育機関 (大学・高専など)  
(e) 学生 (f) その他 ..... 4-
  5. 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務  
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員 (大学・大学院) (h) 教職員 (小・中・高校・高専など)  
(i) 学生 (j) その他 ..... 5-
  6. 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 ..... 6-
  7. 性別：(a) 男性 (b) 女性 ..... 7-
  8. あなたはモニタですか? : (a) はい (b) いいえ ..... 8-
  9. あなたのご意見は「会員の広場」(会誌および Web) に掲載される場合があります。その場合：  
(a) 実名可 (氏名のみ掲載) (b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない ..... 9-
  10. 今月号 (2007年11月号) の記事についてのあなたの評価をご記入ください。  
[ a...大変参考になった b...よい c...普通、どちらとも言えない d...悪い e...読んでいない ]
- 特集：変わりつつある情報教育
1. 初等中等教育における情報教育 ..... 10-1-
  2. 小学校における教育実践事例 ..... 10-2-
  3. 中学校における教育実践事例 ..... 10-3-
  4. 高等学校における教育実践事例 ..... 10-4-
  5. 高等学校必修科目としての「情報」 ..... 10-5-
  6. 海外の情報教育の動向 ..... 10-6-
  7. 大学での情報入試 ..... 10-7-
  8. 大学における情報教育 J07 ..... 10-8-
- ペタスケール時代に向けたハイパフォーマンスコンピュータの動向 ..... 10-9-
- Trusted Network Connect ..... 10-10-
- 欧米における HCI 教育の動向 ..... 10-11-
- 報告：Cell スピードチャレンジ 2007
- Cell スピードチャレンジ 2007 は楽しめましたか? ..... 10-12-
  - Cell スピードチャレンジ 2007 規定課題参加報告 ..... 10-13-
  - Cell スピードチャレンジ 2007 自由課題参加報告 ..... 10-14-
- チェッカー解明秘話 ..... 10-15-
- トップエスイー：サイエンスによる知的ものづくり教育 ..... 10-16-
- HD DVD の技術 ..... 10-17-
- 仮想マシン道しるべ：仮想マシン技術の応用 ..... 10-18-
- 研究会千夜一夜：グループウェアとネットワークサービス研究会 ..... 10-19-
- 研究会千夜一夜：分散システム/インターネット運用技術研究会 ..... 10-20-
- 標準化よもやま話：思い出のタフ・ニゴシエータ ..... 10-21-
11. 特に興味を持ってお読みになった記事とその感想をお書きください。
  12. 著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらお書きください。

今回の特集では、小学校から大学までの情報教育を取り上げました。2002年前後から相次いで全国の学校（小中高）で情報教育が行われるようになってから、早くも4,5年が経ちました。最初はどの学年でも入門的な内容を扱っていましたが、小中学校で入門的な情報教育に触れた子どもたちに対して、高校ではより高度な教育が必要とされてきています。

高校生が全員履修する「情報」という科目では、今後は「社会と情報」「情報の科学」といった具体的な科目名で情報を扱うことが検討されているようです。

「社会と情報」でどの程度情報科学や情報技術が扱われるか不明です

が、たとえば社会での情報活用を理解するには情報技術が必要ですし、インターネット上でのリスクやセキュリティを理解して対応していくためには、ある程度の技術的な背景を理解しておく必要があります。

「情報の科学」については、科学的な理解と工学的な理解をうまく結合させて、さまざまな製品やサービスが「こんな原理で動いていたのか!」とわくわくできるような授業が出てくることを期待します。

これらの面を考えると、今後も本会への社会的な期待がますます高まることは間違いありません。今後も誌面やシンポジウムなどを通じてみなさまと進めていきたいと考えています。

(兼宗 進/本特集エディタ)

### 次号 (12月号) 予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

#### 「特集」文化・芸術と科学・技術の新たな邂逅

アートを科学する — 「描くこと」を中心として — / デザイン転写による音楽制作支援 / 身体性メディアによるメディア芸術創造支援 / 作者の感性を反映するアニメ制作支援 / 可視化技術で創造力を高める映画制作支援 / オンラインゲームの課題とその制作支援 / メディア技術が支えるデジタルパブリックアート / デバイスアート：インタラクティブテクノロジーの美学

#### 「小特集」女性たちが拓く IT — IT ダイバーシティ活動の一環として (仮)

女性の働く環境 — 30年前の米国と今日の日本 — / 次世代の女性技術者たちへのメッセージ / ヒューマンインタフェース研究が与えてくれたダイバーシティ思考 / 企業、起業、大学での活動 / 高校での「情報科学」出張講義で考えること / IT とともに歩んだ私の履歴書 / インターネット研究へのこだわり in 広島

#### 解説

大規模データのための対話的テキストマイニング..... 吉田一星

連載 仮想マシン道しるべ

コラム 研究会千夜一夜 / 標準化よもやま話

**ITの最新情報，研究発表の場の提供を通じて，あなたのお役に立ちます**

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

# 会員募集中!!

今一番新しい研究分野は何か?

IT時代をリードしたい!

そうだ、情報処理学会に入ろう!



申込/照会先 **社団法人 情報処理学会**  
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F  
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

#### 複写される方へ

本会は下記協会に複写に関する権利委託をしていますので、本誌に掲載された著作物を複写したい方は、同協会より許諾を受けて複写してください。ただし、(社)日本複写権センター(同協会より権利を再委託)と包括複写許諾契約を締結されている企業の社員による社内利用目的の複写はその必要はありません(社外頒布用の複写は許諾が必要です)。権利委託先:(中法)学術著作権協会  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル  
E-mail: info@jaacc.jp Tel (03)3475-5618 Fax (03)3475-5619  
なお、著作物の転載・翻訳のような複写以外の許諾は、学術著作権協会では扱っていませんので、本会へご連絡ください。

また、アメリカ合衆国において本書を複写したい場合は、次の団体に連絡してください。  
Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

#### Notice for Photocopying

If you wish to photocopy any work of this publication, you have to get permission from the following organization to which licensing of copyright clearance is delegated by the copyright owner.

<All users except those in USA>  
Japan Academic Association for Copyright Clearance, Inc. (JAACC)  
6-41 Akasaka 9-chome, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan  
E-mail: info@jaacc.jp  
Phone: 81-3-3475-5618 Fax: 81-3-3475-5619

<Users in USA>  
Copyright Clearance Center, Inc.  
222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA  
Phone: 1-978-750-8400 Fax: 1-978-646-8600

# 掲載広告カタログ・資料請求用紙

## 広告のお申込み

### ■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

### ■「情報処理」

発行 社団法人情報処理学会  
 発行部数 30,000部  
 体裁 A4判  
 発行日 毎当月15日  
 申込締切 前月10日  
 原稿締切 前月20日  
 広告原稿 オフセット用ポジフィルム  
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm  
 1/2頁 天地125mm×左右180mm  
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

### ■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27  
 (株)精機通信社 (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

\*左記料金はポジフィルム納入による料金です。  
 \*版下・製版等が必要な場合には別途実費申し受けます。  
 \*断切広告は上記料金の10%増です。ただし、表4は不可。  
 \*同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

## 掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて（またはE-mailにて必要事項を記入の上）(株)精機通信社宛にご請求ください。

### ■「情報処理」 48巻11号 掲載広告（五十音順）

- |   |   |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> インタフェース…………… 表4    | <input type="checkbox"/> 精機通信社…………… 前付最終        |
| <input type="checkbox"/> オー・ティ・ビー…………… 前付3上 | <input type="checkbox"/> 筑波大学…………… 目次前          |
| <input type="checkbox"/> オーム社…………… 表2対向     | <input type="checkbox"/> 三菱電機インフォメーションシステムズ… 表3 |

すべての会社を希望

### ■資料送付先

フリガナ お名前	_____		
勤務先	_____ 所属部署		
所在地	(〒 _____ )	_____	
	TEL ( _____ )	-	FAX ( _____ )
ご専門の分野	_____		



お問合せ・お申込み・資料請求は  
**広告総代理店 (株) 精機通信社**

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sei@ss-com.co.jp



## 賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 (社) 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

### ●●● 賛助会員 (20～50口)

**HITACHI**  
Inspire the Next

(株) 日立製作所

**FUJITSU**

富士通 (株)

**NEC**

日本電気 (株)

**TOSHIBA**

(株) 東芝

**IBM**

日本アイ・ビー・エム (株)

**MITSUBISHI**  
*Changes for the Better*

三菱電機 (株)

### ●●● 賛助会員 (10～19口)



株式会社NTTデータ  
(株) NTT データ

**Google**

グーグル (株)



NTTコムウェア  
NTTコムウェア (株)



(株) NTT ドコモ



日本電信電話 (株)

**Microsoft**

マイクロソフト (株)

### ●●● 賛助会員 (3～9口)

**OKI**

沖電気工業 (株)

**Panasonic**  
ideas for life

松下電器産業 (株)

### 読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約100名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

(社) 情報処理学会 会誌編集部門

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail: editj@ipsj.or.jp Fax (03)3518-8375